

放送番組審議会議事録

燕三条エフエム放送株式会社

1、開催年月日 新型コロナウイルス感染防止、まん延防止等重点措置適用のため、レポートにて意見収集した。1月末日締め切り。

2、開催場所 各宅

3、委員の出席(レポート提出数)

・委員総数 …… 8名

・レポート提出委員の氏名…高橋智義委員長、瀬戸明委員、市島清貴委員、田辺とも子委員
本間幸美子委員、遠藤愛子委員

・レポート未提出の氏名…渋谷宏一委員、吉田鉄平委員

4、議題内容

(1)「燕三条エフエム放送の番組全体に関する感想、要望、意見など総評」

(2)次回の番組審議委員会の日程について

(1)「燕三条エフエム放送の番組全体に関する感想、要望、意見など総評」

高橋智義委員長

<全体に関する感想>

ローカル色が出ており、また和やかな雰囲気番組が多いので、「アットホーム＝自分の家にいる」ような感じがいいです。

<要望、意見>

・地域の情報をもっと提供してはどうでしょうか。

例えば、県央各地の「道の駅」や大学のイベント等。地域の寺社・仏閣の紹介シリーズ(すでに実施済みであればご容赦を)

・スマホで聴取できる方法はないのでしょうか。例えば、radiko が利用できれば、どこでもいつでも聴取できます。

・今後もコロナ対策のうえ、(さとちゃんなどの)野外イベントで多くのリスナーが参加できる催しを開催してください。

瀬戸 明委員

いただきました点については、よく頑張っておられるものと常々思っています。

JCBA のホームページに以下の内容が出ていました。

「放送エリアに相応した営業エリアの狭さをカバーするため地区ごと、全国での共同作業に取り組むほか、使命ともいえる防災・災害放送では地域と緊密な連携を保つなど、様々な問題に放送を通じ、貢献しています。設立基準の規制緩和が進み、法人格を有する起業者(規模の大小は問わない)のほか組合など団体でも開局できます。放送義務は小規模事業者でも運営ができるように「県域放送」に比べ緩やかです。」

また、以下の掲載がされていました。「①コミュニティ放送局の相互啓発、②放送倫理の向上、③共通の問題の解決、④放送を通じて地域の振興と公共の福祉の増進に寄与」。

私は、掲載されている防災・災害放送と、次に「④放送を通じて地域の振興と公共の福祉の増進に寄与」の点が、もちろん「放送倫理の向上」があげられますが、「放送を通じて地域の振興と公共の福祉の増進に寄与」が非常に重要な役割だと思っています。

さらなる地域人材の発掘から地域振興や公共福祉に努めていただければ幸いです。

ポストコロナの中ではありますが、パーソナリティ・地域人材とのさらなるトークやディスカッション、ワークショップ等について考えていただくとすそ野が広がるものと思います。

リスナーが増え、集客も繋がり、さらにスポンサー開拓にもなるものと断言します。

言うは易し行うは難しですが、創意工夫して実行していただければと思います。

市島清貴委員

私はラジオは自動車を運転中に聞くもので、自宅で聞くことはほとんどない。若い学生たちは、車中でもラジオをつけることはなく、音楽を別のメディアで聞いているようだ。もっと多くの聴取者にラジオ放送、特に燕三条エフエム放送を惹きつけるには何が必要だろうか。

私は大雪警報や河川の氾濫、災害時の緊急情報伝達などで、威力を発揮してもらいたい。マイカーに乗車中、大雪などで災害が発生する恐れがあるのに、ラジオが臨時ニュースを放送しないときは、私はまずカーナビをテレビに設定し、緊急情報が放送されていないか確認する。次に、停車しスマートフォンのインターネットで情報を検索する。ラジオは「今」本当に必要な情報をなかなか提供してくれない。

今冬は、列島を覆う異例の寒波により、山沿いだけでなく、県央地区でも道路では広域な通行止めなどの大混乱が続いた。大渋滞、学校の休校、水道の凍結など、今すぐに知りたい情報を地元燕三条エフエムからもっと発信してほしい。

私の勤務する大学には、県から気象に関する注意喚起のメールが頻繁に届く。以下は、今年の1月23日に届いたメッセージの抜粋である。

Subject:【注意喚起】24日から26日にかけての新潟県における気象の見通しについて
県内高等教育機関 ご担当者様

お世話になっております。新潟県大学・私学振興課の〇〇と申します。

新潟地方気象台から、24日から26日にかけての新潟県における気象の見通しについて情報提供がありました。各学校に置かれましては、生徒・学生・職員の安全確保を最優先に対応くださるよう、お願いいたします。対応にあたりましては、気象台が発表する最新の防災気象情報に留意願います。

【大雪】冬型の気圧配置の強まりの程度によっては、24日および26日も警報級の大雪となる恐れがあります。(以下略)

大学ではこれを受けて早々と大学休校を決めて、可能な限りインターネットの遠隔授業を行うよう全教職員・学生にメールで周知した。小中学校はどのように休校を決定するか知らないが、小中学校に関する情報は大学と違って子供や保護者以外にも多くの地元の方々は関心があるだろう。休校が決まった段階で、すぐに地元の聴取者に向けてラジオ局からアナウンスできないものだろうか。

私の要望であるが、「生放送中の番組内で、ニュースを随時放送できる体制を作ってもらいたい」。定時ニュースでカバーしきれない地元の情報、例えば「現在国道が通行止めになっている」「〇〇で冠水する恐れがある」「小中学校、明日臨時休校」などを生放送の番組中に、アナウンサーが割り込んできて臨時ニュースをいつでも提供できるようにならないか。それができてこそ、地域に根ざしたメディアとして重要な役割を果たしていると言えるはずだ。

田辺とも子委員

燕三条エフエム放送といえば、「さとちん電波」(月～金9:00～11:00)ではないでしょうか。番組開始以来ほぼ毎日聴く中で最近思うのは、「こなれてきた」と感じることです。さとちんの、リスナーさんへの対応しかり、お菊さんやヒラメ姉さんほか、日替わりアシスタントたちの「締めるところは締める」落ち着いたしゃべりと、軽妙なさとちんとの掛け合いが絶妙だと思います。県内外からのメッセージも番組に色を添え、情報量も増しています。そして、スタジオに集うリスナーさんたちの存在が、地域密着型放送の楽しさを倍増させていると思います。

もうひとつの看板番組「ひとちん電波びより」(月・水・金11:00～13:50)は、豊富な語彙と、丁寧な言葉選びが光ります。リスナーさんからのメッセージをもとに話を膨らませ、さらに進行しながらその場で調べ、ちょっとした情報を披露してくれるのはうれしいです。また、ゲストへのインタビューは、準備を十分にいたうえで進めているのが伝わってきます。ゲストとの明るいやり取りは、聞いていて好感が持てます。

その他、「まゆの部屋」(火19:30～20:00)をはじめ、特色ある番組が放送のアクセントとなっていると思いますが、新しい番組の誕生を目にするとき、若い、個性豊かなパーソナリティーの存在に希望を感じます。

今後も大いに期待しています。

本間幸美子委員

なかなか昼間番組を拝聴することはできませんが、この審議会を通じていくつかの番組をお聞きしていると、各年代に合わせた番組が編成されていて、それぞれリスナーの皆さんが楽しめると思います。(「ネイルヘルスアカデミー」(水13:00～13:20)や「ラヂヲで歌声喫茶」(第1火曜14:00～14:30 昨年12月で終了)など)

燕市としては、「燕情報クリップ」(月～金7:25～7:35ほか)で燕市の情報をタイムリーに放送していただいたり、市の取組である「燕市役所まちあそび部」のメンバーである高校生の要望を取り入れてもらい、番組に出演させていただいたりなど、市民の皆さんが市の情報を得るツールとして重要な役割を担ってもらっており、感謝いたします。

今後もリスナーの方々、楽しい時間を過ごせる番組を期待いたします。

遠藤愛子委員

日頃から燕三条エフエム放送の番組を聞いており、次の3番組は楽しく聞かせていただいています。

「燕三条系さとちん電波」は、車の中で聞く機会が多く、ひとりでクスクス笑ってしまいます。番組の中に流れる選曲も素晴らしいです。

「ひとちん電波びより」は、ひとちんさんの素敵な声、トークの進め方が気持ちよく、和んでしまいます。

「まゆの部屋」の、まゆさんの落ついた話し方やリクエスト曲にほっこりします。

「燕情報クリップ」は、身近な地域情報に関心を持ちました。

つづいて、私も番組制作に参加させていただいている「ワイワイ女性ひろば」(木11:00～11:30)についてです。番組進行は私も参加している「つばめ生活学校」のスタッフです。日常の生活の中で気づいた問題を、女性の視点で考え、行動しているグループです。

主な活動は、年1回の「女性と市長との懇談会」とこの番組出演です。以前は、市長との懇談会を番組制作に生かして放送しました。内容は、「防災の取組」「病児病後児保育園の必要性」「古着の再利用」などです。

この放送と市民のみなさんのおかげで、病児病後児保育園は開院や、古着の再利用も今年から再開されました。

このようにエフエム放送に番組を持たせていただき実現することは、素晴らしい活動だと思います。番組制作にかかわることができ、スタッフ一同感謝しております。日々の暮らしの気づき、社会への関心を持ち、収録に臨んでいます。毎回緊張していますが、楽しく作っています。

最後に、リスナーの方から、「女性が気付いた身近なことが話題になり、聞きやすい」と感想をいただきました。今後も番組制作者として、リスナーの一人として燕三条エフエム放送に関心を持っていきたいと思っています。

(2) 次回の番組審議委員会の日程について

令和5年3月を予定。(新型コロナウイルスの感染状況に応じて、開催場所、日時、開催方法を決定する)

5、審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表内容及び年月日

自社放送	令和 5年 2月 10日(金)
書類のエントランスホールへの備置き	令和 5年 2月 10日(金)
自社 HP 上に記載	令和 5年 2月 13日(月)

6、その他、参考となる事項

特になし。